

文化交流史Ⅰ

科目ナンバリング HSG-101
選択 2単位

保田 那々子

1. 授業の概要(ねらい)

我が国の文化は諸外国との交流のなかで形成され、また他方では諸外国へ影響を与えてきた。原始から現在に至るまでの経過を概観していくため、通年での履修が望ましい。なお前期では古代までを扱う。

2. 授業の到達目標

・古代までの対外交流による日本文化への影響を説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験70%、授業態度30%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書・参考図書ともに使用せず、プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

- ・授業プリントやノートを見返して復習する。
- ・関連する展示があれば授業中に案内するので、足を運ぶことが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

質問やリアクションペーパーを通じての積極的な授業への参加を期待しています。
私語など、他の学生の授業参加の妨げとなる行為がある場合、退出を命じることがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 日本の地理学的位置とヒトの移動
- 【第3回】 大陸から伝えられた技術
- 【第4回】 朝貢貿易
- 【第5回】 仏教
- 【第6回】 遣隋使と白村江の戦い
- 【第7回】 シルクロード
- 【第8回】 正倉院①
- 【第9回】 正倉院②
- 【第10回】 遣唐使がもたらしたもの
- 【第11回】 大宰府
- 【第12回】 唐物と国風文化
- 【第13回】 日宋貿易
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 まとめと期末試験